

事務事業マネジメントシート

事務事業名		コンベンション・フィルムコミッション推進事業				本年度担当課	観光推進課
						前年度担当課	観光推進課
政策 体系	基本目標	02	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			新規・継続	継続事業
	政策	01	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			実施計画・一般	実計計画事業
	施策	01	ひとを集める観光戦略の展開			市単独・国県補助	市単独事業
	基本事業	03	コンベンション事業の推進			任意・義務	任意的事業
予算 科目	会計	款	項	目	予算事業名		事業 区 分
	一般	07	01	04	コンベンション・フィルムコミッション推進事業		
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成23年度～		
根拠法令・条例等		なし					

1. 事務事業の現状把握【D0】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）									
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）				令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）					
○コンベンション（総会や大会を本市へ誘致すること）の調査研究及びフィルムコミッション（映画やテレビ番組などを本市で撮影するときの支援）事業を実施する。 ○フィルムコミッション（映画やテレビ番組などを本市で撮影するときの支援）事業により、本市の魅力を広く発信し観光誘客に繋げるため、地域おこし協力隊員を配置し、事業の推進を図る。				・佐野フィルムコミッションホームページの管理 ・佐野フィルムコミッションの運営 ・エキストラ登録管理 ・ロケ支援随時実施 ・観光協会と連携しコンベンションガイドブックの作成					
				活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)
ロケ候補地数	件	220	220	220	220	220			
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）									
制作会社		対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
		問合せ件数	件	127	123	130	130	130	
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）									
本市でロケを行ってもらおう。		成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		撮影候補地の提供数（放送件数）	件	目標	25	15	18	18	18
				実績	8	15			
④結果（どのような結果に結びつきますか？）									
本市の魅力を知ってもらい、来訪、宿泊してもらおう。		上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		ロケ誘致件数	件	目標	55	18	20	20	20
				実績	15	19			
		コンベンション事業数	事業	目標	8	5	15	15	15
				実績	1	12			

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(目標)	R6年度(目標)	R7年度(目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	10	0	0	0	
	一般財源	千円	0	3,639	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	0	3,649	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					報酬	2,122		
					使用料及び賃借料	660		
				職員手当等	416			
				共済費	415			
				旅費	35			
		役員費	1					
人件費	職員従事工数	人工	1.37	1.37	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	10,038	9,983	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	10,038	13,632	0	0	0	

B表（事後評価シート）

事務事業名	コンベンション・フィルムコミッション推進事業	本年度担当課	観光推進課
		前年度担当課	観光推進課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	本市のお宝を活用して、本市への来訪者を増加させるために、新たな事業展開が必要となった。また、北関東自動車道が全線開通したことにより、首都圏や他の撮影地から佐野市へのアクセスが容易になりロケ誘致に適するため。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	観光地域づくり法人である（一社）佐野市観光協会と連携することにより、コンベンション誘致件数の増加が見込まれる。また、ロケ件数の増加に伴い、本市の知名度向上が図られる。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	他市でも盛んに行われているフィルムコミッション事業を推進し、本市の認知度の向上が必要である。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	フィルムコミッション地域おこし協力隊員設置事業とコンベンション・フィルムコミッション推進事業を統合した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑦成果向上余地前年度評価結果	⑧左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がかなりある	向上した
⑨取組結果の理由			⑩事務事業の成果向上余地
フィルムコミッション地域おこし協力隊員設置事業とコンベンション・フィルムコミッション推進事業を統合した。			成果向上余地がある程度ある
⑪A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑫目標達成に向けて必要となる取組内容	
制作会社とのスムーズなやり取りができたものと考えられる。また、一般社団法人佐野市観光協会と連携し、佐野コンベンションガイドを作成した。		継続的な事業の実施。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大		○	現状維持（従来通り実施） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
	中				
	小				
		大	中		